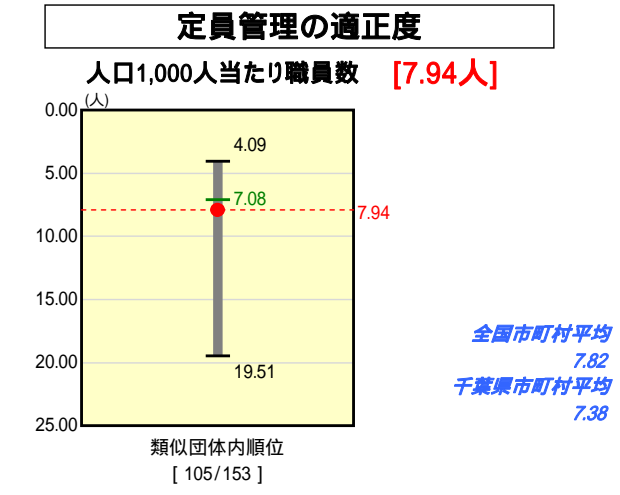
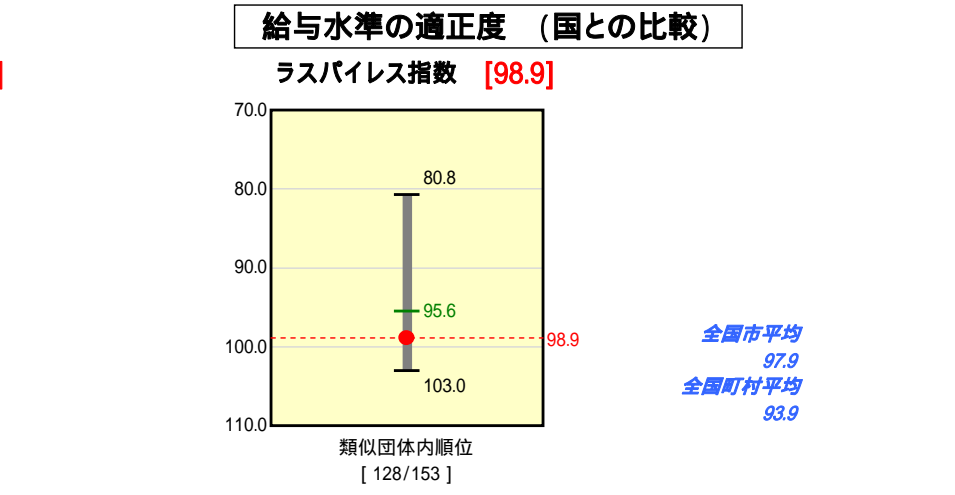
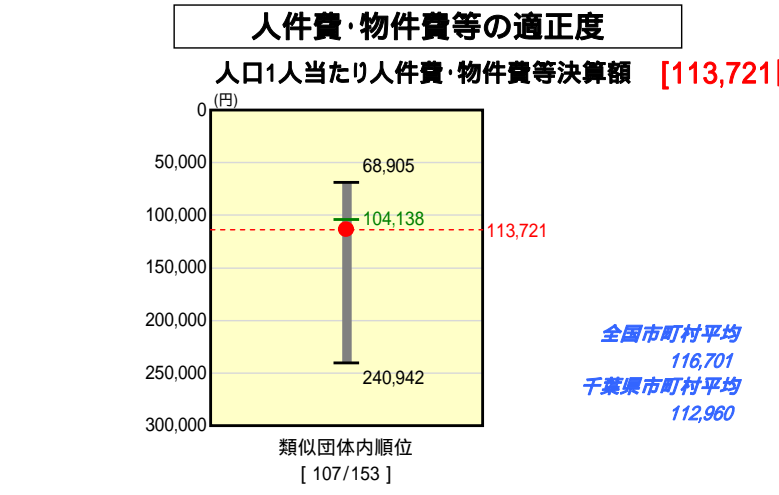
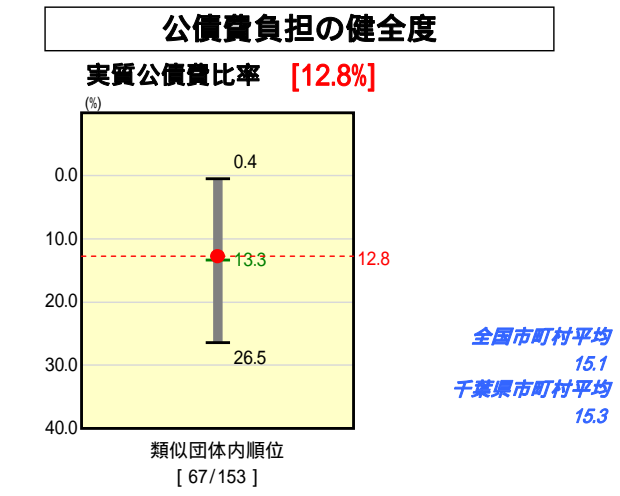
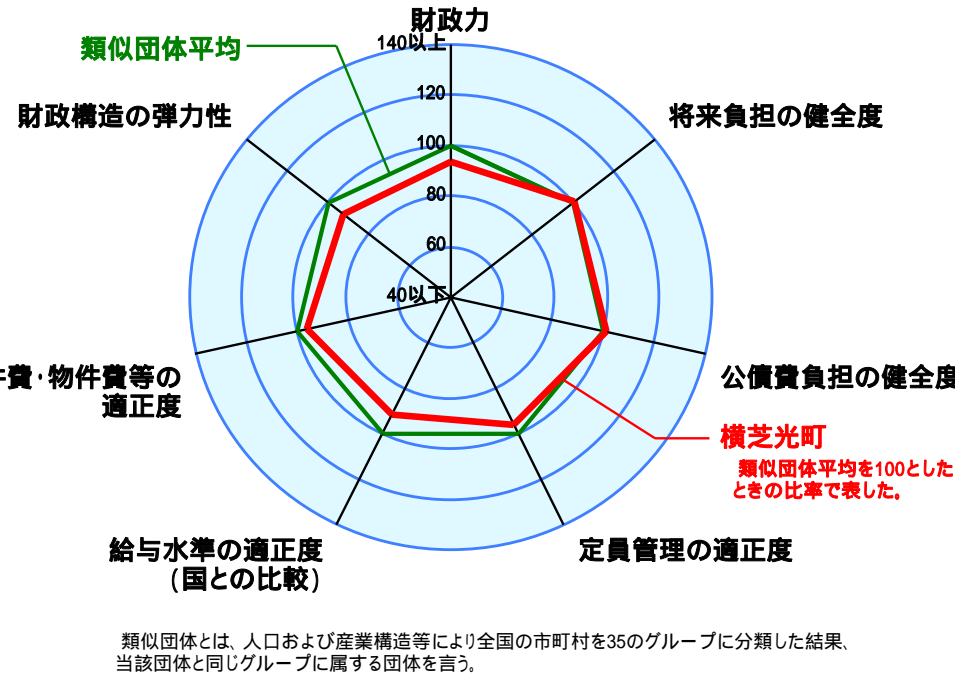
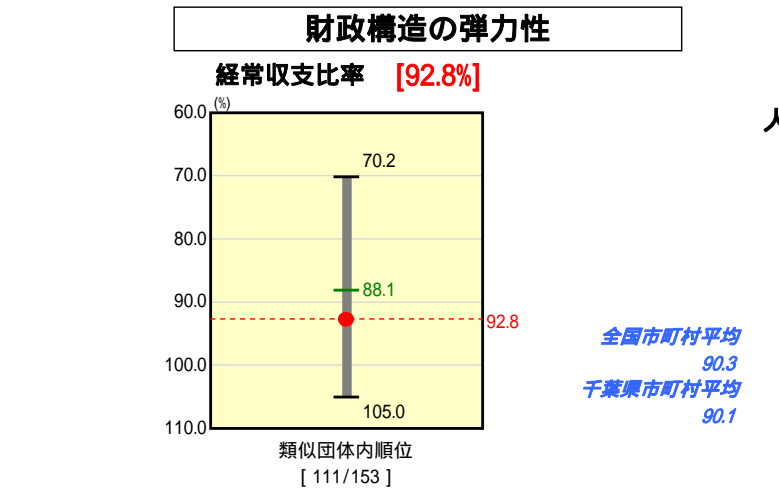
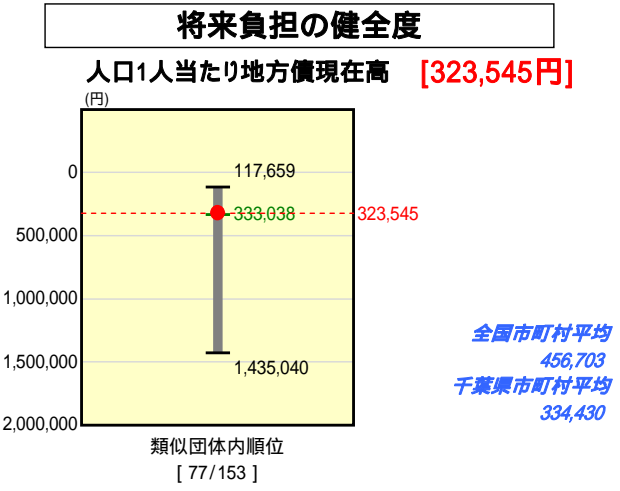
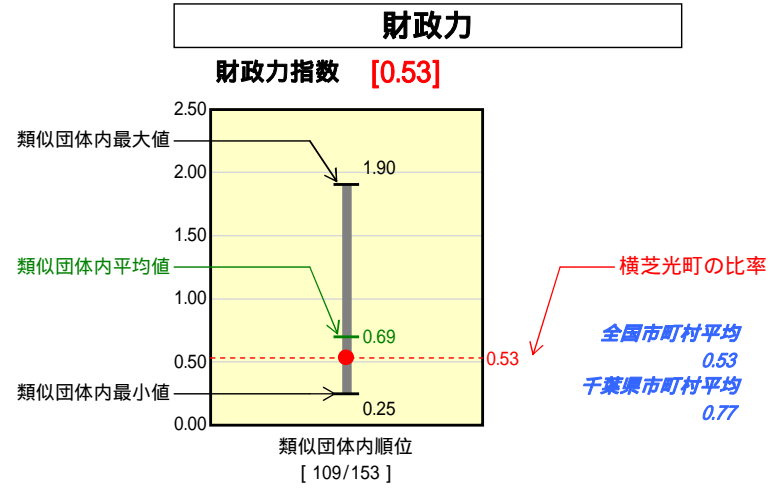


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 横芝光町

人口	26,436	人(H19.3.31現在)
面積	66.91	km ²
歳入総額	9,245,024	千円
歳出総額	8,916,781	千円
実質収支	321,961	千円



分析欄

<財政力指数> 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(18年末26.0%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っているため、今後は税収の徴収率の向上等財政基盤の強化を図るとともに、退職者不補充等による人件費の削減、組織の見直し(横芝行政センターの廃止)等による歳出の徹底的な見直しと町建設計画に沿った施策の重点化の両立に努め、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

<経常収支比率> 人件費及び病院事業や航空機騒音対策事業などによる補助費の増(構成比24.7%)等のため、類似団体平均を上回っている。今後は集中改革プランに基づき退職者不補充等による人件費の適正化と全体的な事業の見直しを進め、優先度の低い事業については計画的に廃止、縮小を進めるなどにより経常経費の削減を図る。

<実質公債費比率> 現在のところ類似団体平均をやや下回っているものの、今後大型事業に伴う起債の元金償還を控えており、この数値は更に上昇していくことが見込まれる。大型投資事業の適切な取捨選択を行い、比率の上昇を最小限に抑えていきたい。

<人口1人当たり地方債現在高> 現在のところ類似団体平均をやや下回っているものの、今後も合併特例債等の地方債発行が見込まれていることから、事業の必要性、緊急性を精査することにより全体の起債発行額を抑え、比率の上昇を最小限に抑えていきたい。

<ラスパイレス指数> 現在のところ類似団体平均をやや上回っているため、人事院の勧告制度を踏まえ、国、県、他の自治体等の状況を考慮し、給与制度・運用・水準の適正化に努める。

<人口1,000人当たり職員数> 現在のところ類似団体平均をやや上回っていることから、一般職に係る退職者分の不補充や支所(行政センター)の廃止などにより、平成22年までに職員数を20名削減を目標とする等、集中改革プランに沿った事業の見直しを進めるとともに、ITの活用等により行政サービスを維持し、より適切な定員管理に努める。

<人口1人当たり人件費・物件費等決算額> 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、主に人件費が要因となっている。これは主に保育所や公民館、給食センター(2箇所)などの施設運営を直営で行っているためである。今後は、民間でも実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの低減を図っていく方針である。